

平成22年度 事務事業評価シート（平成21年度実績分）

事務事業名	親子絵本ふれあい事業		部課コード	1208	予算事業科目	010302011034	事	単	区分	継続
所管部署	担当部局	健康福祉部	部局長名(2次評価者)	岡林 敏行		個別事務	全部	010302011034	-	
	担当部署	子育て支援課	所属長名(1次評価者)	橋本 仁美			-			
	電話番号	823-1212	E-mail	kc-120801@city.kochi.lg.jp			-			

1 事業の位置付け

予算科目(平成21年度)	高知市総合計画・実施計画施策体系での位置付け			
会計	01 一般会計	目標	02 いきいきと安心して暮らせる都市	政策基本方針 子どもを生き育てやすい子育て支援のまちづくりを推進するとともに、郷土を愛し、人間性にあふれる、時代を担う心と個性が輝く人材の育成を推進します。
款	03 民生費	政策	01 未来を拓く土佐っ子の育成	
項	02 児童福祉費	施策	01 子育て支援の充実	
目	01 児童福祉費総務費	区分	15 その他の子育て支援	

2 事業の根拠

法律・政令・省令	児童環境づくり基盤整備事業費国庫補助金(～21年度), 次世代育成支援対策交付金(22年度～)	法定受託事務
県条例・規則・要綱等		
市条例・規則・要綱等		
その他(計画, 覚書等)		

3 事業の目的・内容等

対象	誰(何)を対象に	満10か月から1歳6か月の乳幼児及びその保護者		
意図	どのような状態にしていくなのか	言葉や心を通わすことの楽しさ大切さを伝え、親子の絆の確立や再構築, 育児力の向上をめざす。		
手段	事業実施体制等	職員のサポートにより公募のスタッフ, ボランティアが, 会場運営を行う。	事業開始年度	平成18年度
			事業終了年度	
活動内容	どのような事業活動を行うのか	満10か月児の乳幼児の保護者に, 当事業の案内状を郵送し, ふれあいセンター図書室や図書館などの実施会場にて, 保育士等の専門職による絵本の読み聞かせ講習・指導を行うほか, 育児情報の提供やふれあい遊び, 子育て相談も行う。		
成果指標	事業目的の成果を測る指標		指標設定の考え方	
	A	事業の利用率(%)	参加者及び事業を利用したもの(絵本の受け取り)を含めた割合により事業効果を確認する	
	B	事業の満足度(%)	参加者の事業に対する満足度により事業効果を把握	
	C			

4 事業の実績等

			19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(計画)	備考欄	
成果指標	A	事業の利用率(%)	目標 40	40	40	40	参加者 19年度 61回 613組 20年度 63回 680組 21年度 63回 601組 満足度(とてもよかった)は参加者アンケートにより集計 21年度実績(A)は暫定値	
		実績	27	25	33	90		
	B	事業の満足度(%)	目標 90	90	90	90		
		実績	79	74	84			
C	目標							
	実績							
投入コスト	① 事業費	決算額 (千円)	1,216	1,201	1,198	1,160	H22年度より国の補助金の対象事業が変更 次世代育成支援対策交付金はポイント制で, 実績により按分されるため, 今回の財源内訳は前年度補助対象事業分で表記	
		財源内訳	国費 (千円)	400	400	400		386
			県費 (千円)	0	0	0		0
			市債 (千円)	0	0	0		0
			その他 (千円)	0	0	0		0
			一般財源 (千円)	816	801	798		774
	翌年度への繰越額 (千円)							
	② 概算人件費等	人件費等 (千円)	932	932	932	1,500	月20時間程度の現場サポート 対象者への案内や会場管理 報償費支払い事務やアンケート等集計事務などにより0.2人役	
		正規職員 (千円)	750	750	750	1,500		
			その他 (千円)	182	182	182		
			人役数 (人)	0.20	0.20	0.20		0.20
		正規職員 (人)	0.10	0.10	0.10	0.20		
			その他 (人)	0.10	0.10	0.10		0.00
	総コスト= ① + ② (千円)		2,148	2,133	2,130	2,660		
市民1人当たりコスト (円)		6	6	6		総コスト/年度末人口		
年度末住民基本台帳人数 (人)		341,544	340,695	339,714				

5 成果指標で表せない事業成果・市民満足度・その他課題点等

○事業については、スタッフとボランティアで運営されており、育児に関する支援のサポート意識の醸成も同時に行われている。
 スタッフ・ボランティアの中には、多方面で活動されている方もおり育児支援のすそ野の広がり一定程度とされていると考えられる。

○参加者の満足度は高いが、参加率が低い。事業効果を上げるために参加率の向上が課題となる。

6 1次評価（所属長評価）

評価日（平成 22 年 9 月 28 日）

評価項目		評価基準	1次	平均点数	評価内容の説明
事業実施の必要性	① 事業の実施が市の総合計画・実施計画・市長マニフェスト等の目標達成に結びつくか、又は、事業の根拠等に結びつくか	A (5) 結びつく	A	4.0	本事業は、乳幼児期から絵本を通じて、言葉や心を通わすことの楽しさ、大切さを親に伝え、親子の絆の確立や再構築、育児力の向上をめざし、また、子育てボランティアの活動により、子育て支援のまちづくりを進めることを目的としており、本市総合計画に掲げる「未来を拓く土佐っ子の育成」の趣旨に合致している。 この事業の利用率は高くはないが、参加者の満足度は高い。
		B (3) 一部結びつく			
		C (1) あまり結びつかない			
		D (0) 結びつかない			
事業実施の必要性	② 事業の実施に対する市民のニーズ（需要量）の傾向はどうか	A (5) 非常に多い、急増している	B		
		B (3) 横ばいである			
		C (1) 少ない、減少している			
		D (0) ほとんどない			
事業内容の有効性	③ 事業の成果指標の達成状況は順調か	A (5) 十分に達成している	B	本事業への参加者の満足度は高い。 また事業を職員のサポートにより公募のスタッフ、ボランティアで運営する形態をとることで、育児に関する支援のサポート意識の醸成も行われている。 事業効果を高めるためには、参加率を上げることが必要である。	
		B (3) 概ね達成している			
		C (1) あまり順調ではない			
		D (0) 十分な成果を望めない			
	④ 事業成果の向上のための手法・活動内容の妥当性	A (5) 妥当である	B		
		B (3) 概ね妥当である			
		C (1) 検討の余地がある			
		D (0) 見直しが必要である			
事業実施の効率性	⑤ 事業の実施にかかる民間活力利用の可能性	A (5) 実施済・できない	B	本事業を通して、親子のふれあいの大切さを学ぶことで、保護者自身の育児力を高め、良好な親子関係づくりに役立ててもらうだけでなく、育児の孤立化予防、育児不安の減少、虐待予防の点にもつなげていく、また、子育てボランティアの活動により、子育て支援のまちづくりにつなげる等、行政主体での視点で事業を行っている。 予算的には厳しい状況で実施しており、これ以上のコスト削減は困難である。	
		B (3) 行政主体が望ましい			
		C (1) 検討の余地はある			
		D (0) 十分可能である			
	⑥ 類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性	A (5) 現状が望ましい・できない	A		
		B (3) 概ね効率的にできている			
		C (1) 検討の余地がある			
		D (0) 十分可能である			
事業実施の公平性	⑦ 事業の受益者が特定の個人(団体)等に偏りがなく公平性が保たれているか	A (5) 極めて公平性が高い	A	絵本の読み聞かせの導入時期である、満10ヶ月から1歳6ヶ月の児とその保護者を対象としている。事業に適切な年齢層への事業を行うものであり、受益者負担の視点には馴染まない。	
		B (3) 概ね保たれている			
		C (1) 偏っている			
		D (0) 公平性を欠いている			
	⑧ 事業実施の財源として、受益者負担割合（一般財源負担割合）は妥当か。補助金等交付事業の場合、対象経費は妥当か。	A (5) 適正な負担割合である	A		
		B (3) 概ね適正な負担割合である			
		C (1) 検討の余地がある			
		D (0) 検討すべきである			
総合点	16.0	総合評価	○ A 事業継続 (総合点が16点以上で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合)		
			B 経費削減に努め事業継続 (総合点が12点以上16点未満で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合)		
			C 事業縮小・再構築の検討 (総合点が4点以上12点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで2点以下がある場合)		
			D 事業廃止・凍結の検討 (総合点が4点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで1点以下がある場合)		

7 2次評価（部局長評価）

評価日（平成 22 年 9 月 30 日）

総合評価	評価理由・今後の方向性等
○ A 事業継続	一次評価のとおり
B 経費削減に努め事業継続	
C 事業縮小・再構築の検討	
D 事業廃止・凍結の検討	

8 特記事項

--